



2019年7月22日

各 位

上場会社名	株式会社 ヒラノテクシード
代表者	取締役社長 岡田 薫
(コード番号	6245)
問合せ先責任者	取締役総務部長 原 昌史
(TEL	0745-57-0681)

### (訂正・数値データ訂正)

## 「平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2018年11月9日に公表いたしました「平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後のデータも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

### 記

#### 1. 訂正の理由

「平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に誤りがあることが判明したため訂正するものであります。

#### 2. 訂正の内容

添付資料3ページの「財政状態に関する説明」、及び8ページの「四半期連結キャッシュ・フロー計算書」の記載につきまして、下記のとおり訂正いたします。

##### (1) 添付資料3ページ

##### 【訂正前】

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

##### (2) 財政状態に関する説明

(略)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは6,119百万円(前年同期は547百万円の収入)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が1,789百万円になったこと、売上債権が4,777百万円減少したこと、受注増加に伴い仕入債務が1,331百万円増加したことによります。また、主な減少要因はたな卸資産が1,874百万円増加したことによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは5百万円(前年同期は214百万円の支出)となりました。

主な増加要因は、旧三田工場の売却等により有形固定資産の売却による収入が45百万円あったこと、退任役員~~の~~の保険解約により団体生命保険解約による収入が138百万円あったことによります。また、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出が125百万円あったこと、無形固定資産の取得による支出が12百万円あったことによります。

(以下省略)

【訂正後】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

(略)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは6,119百万円（前年同期は547百万円の収入）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が1,789百万円になったこと、売上債権が4,777百万円減少したこと、受注増加に伴い仕入債務が1,331百万円増加したことによります。また、主な減少要因はたな卸資産が1,874百万円増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは194百万円（前年同期は214百万円の支出）となりました。

主な増加要因は、旧三田工場の売却等により有形固定資産の売却による収入が45百万円あったこと、退任役員の保険解約により団体生命保険解約による収入が138百万円あったことによります。また、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出が125百万円あったこと、無形固定資産の取得による支出が12百万円あったこと、余剰資金運用による有価証券の取得による支出が300百万円あったことによります。

(以下省略)

(2) 添付資料 8 ページ

【訂正前】

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
(略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△401,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	401,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△128,365	△125,372
有形固定資産の売却による収入	715	45,261
無形固定資産の取得による支出	△1,899	△12,975
投資有価証券の取得による支出	△251,897	△2,269
投資有価証券の売却による収入	122,337	893
その他	44,824	99,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,286	<u>5,011</u>
(略)		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△178,400	<u>5,918,866</u>
現金及び現金同等物の期首残高	11,147,110	<u>8,841,211</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,968,710	<u>14,760,078</u>

【訂正後】

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
(略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△401,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	401,000	1,000
有価証券の取得による支出	—	<u>△300,000</u>
有価証券の売却による収入	—	<u>100,000</u>
有形固定資産の取得による支出	△128,365	△125,372
有形固定資産の売却による収入	715	45,261
無形固定資産の取得による支出	△1,899	△12,975
投資有価証券の取得による支出	△251,897	△2,269
投資有価証券の売却による収入	122,337	893
その他	44,824	99,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,286	<u>△194,988</u>
(略)		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△178,400	<u>5,718,866</u>
現金及び現金同等物の期首残高	11,147,110	<u>8,341,211</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,968,710	<u>14,060,078</u>

以上